

小郡三井医師会 学校検診担当理事

田中 泰之 先生

関係者各位 殿

日頃からお世話になっております。

小生、若輩ものながら、本年から心臓検診グループに加えて頂き、7月の会合および8月7日の心臓検診所見会に参加致しました。

心臓検診には長い歴史があり、地域に則した方法で、独自に行われてきたと推察されましたが、最近になり、公益財団法人 日本学校保健会や日本循環器学会/日本小児循環器学会から学校心臓検診のガイドラインが公表され、検診抽出方法、2次以降の検診内容などが詳細に設定されました。このような状況を踏まえ、当地域においても、心臓検診の方法を見直す必要があると判断し、上記ガイドラインに従って、当地域でのガイドライン案を作成致しました。

昨年までは小郡大刀洗地区の小中学生 1700 名から 2 次検診該当者が 170 名程度、3 次該当者が 10 名程度とのことでしたが、上記ガイドラインに従い平成 29 年度の対象者を抽出すると、心電図異常で、心エコーが必要な人数が 40 名程度+QT 延長症候群、問診抽出者、1 次未受診者の 130 名程度が 2 次対象者となり、確実に 40 名は 3 次対象者となります。

筑後地域で、小郡三井以外の医師会は、久留米大学小児科講座と契約し、2 次以降の検診を行なっています。例年に加え 4 倍程度に 3 次対象者が増えるため、受け皿を確認するため、久留米大学小児科 循環器分野教授 須田先生に連絡をとりましたが、多少外来の待ちが生じるが、久留米大学および聖マリア病院で受け入れは可能とのことでした。また、嶋田病院も今年度から、小中学生の 3 次検診の受け入れは行いますとの返事でした。

従って、本年は 2 次検診は従来どおり行い、ガイドラインに従い、必要な症例を 3 次に回すこととしました。

しかし、2 次検診といっても、実際には、生理検査は心電図しかできないため、QT 延長症候群以外の心電図異常の所見を示した症例は、例年の当地域での 2 次検診に来る意味はほとんどなく、来年度以降の 2 次検診のあり方を 8 月 7 日の心臓検診所見会で話し合いました。小郡三井心臓検診マニュアルの黄色塗りをしている部分に記載しましたように、①今年度は要請していないものの久留米大学小児科への依頼は恐らく困難で、仮に受け入れてもらえる場合でもかなりの費用負担となるであろうこと。②医師会に胸部 X 線検査付き検診車および心エコー、検査技師のレンタルを行い、自前で行うことに関しても、費用、人的の両面から困難であろうことから、来年度以降は、2 次検診において、心エコー、胸写を必要とする心電図異常を認めた者は、最初から 3 次に紹介とし、QT 延長症候群など問診によりほとんどが経過観察とできる心電図異常所見者および問診での対象者、1 次検診未受診者を 2 次検診の対象者とするという案となりました。理事会にてご検討下さい。

平成 29 年 8 月 16 日                      とみた内科循環器科 富田 英春